

科目名		日本語		英文表記		Japanese		2015.3.5	
科目コード		4012							
教員名:玉城あゆみ								作成	
技術職員名:									
対象学科／専攻コース				学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科				4年	選	履修	1単位	講義	前期
科目目標		技術者としてのコミュニケーションに十分な日本語の語彙・表現を身につけ、総合的なコミュニケーション能力を高める							
総合評価		前期評価を、定期試験（中間・期末）の平均（80％）+課題（20％）で行い、60％以上を合格とする。							
科目目標達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	理解的な到達レベル (A)	標準的な到達レベル (B)	最低限必要な到達レベル (C)	セルフチェック		
	50%	① 日本語による文章の構成を理解し、論理的に考察することができる。	定期試験および演習等の課題で評価する。	論文・記事を正確に読み取り、論理的に考察することができる。	論文・記事を読み取り、自分なりの考えが述べられる。	論文・記事の内容がだまかに理解でき、内容について話せる。			
	50%	② 日本語能力試験N1またはN2相当の語彙・表現の知識を増やす	定期試験および演習等の課題で評価する。	N1またはN2レベルの語彙・表現を理解し、適切に使うことができる。	N1またはN2レベルの語彙・表現が理解でき、使おうとすることができる。	N1またはN2レベルの語彙・表現がある程度理解できる。			
本科・専攻科教育目標		1	2	3	4				
		○	◎		○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
評価項目		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習・実習・課題等)	総合評価	セルフチェック	
基礎的理解		①②	80	0	0	20	100		
応用力(英語・専門・融合)		①②	20				60		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		①				20	20		
主体的・能動的学習態度							0		
授業概要、方針、履修上の注意		様々な資料の速読と読解とそれに関するディスカッションによって育成し、多様な学習に対応できる日本語力を育成する。また、各自分のレベルに合わせて、日本語能力試験N1またはN2相当の力をつける。 また、演習課題を課し、その提出状況も評価する。							
教科書・教材		『大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』アカデミック・ジャパニース研究会編著(アルク) 『中・上級者のための速読の日本語 第2版』(The Japan Times) 『新完全マスター語彙日本語能力試験N2』(スリーエーネットワーク) 『新幹線マスター語彙日本語能力試験N2』(スリーエーネットワーク)							
授 業 計 画									
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習 (予習・復習) 内容	セルフ チェック	
1	コースインフォメーション・自己紹介	2	履修内容概観ほか				演習課題・JLPT		
2	読解演習	2	第1課「異文化適応」①				演習課題・JLPT		
3	読解演習	2	第1課「異文化適応」②				演習課題・JLPT		
4	読解演習	2	第1課「異文化適応」③				演習課題・JLPT		
5	読解演習	2	第2課「いじめ」①				演習課題・JLPT		
6	読解演習	2	第2課「いじめ」②				演習課題・JLPT		
7	読解演習	2	第2課「いじめ」③				演習課題・JLPT		
8	前期中間試験(行事予定で適変更可)	2							
9	読解演習	2	第3課「衝動買いを誘導する」①				演習課題・JLPT		
10	読解演習	2	第3課「衝動買いを誘導する」②				演習課題・JLPT		
11	読解演習	2	第3課「衝動買いを誘導する」③				演習課題・JLPT		
12	読解演習	2	第4課「ビデオカメラの人間工学」①				演習課題・JLPT		
13	読解演習	2	第4課「ビデオカメラの人間工学」②				演習課題・JLPT		
14	読解演習	2	第4課「ビデオカメラの人間工学」③				演習課題・JLPT		
15	応用練習	2	まとめと復習						
期末	期末試験	[2]							
16		2							
17		2							
18		2							
19		2							
20		2							
21		2							
22		2							
23	後期中間試験(行事予定で適変更可)	2							
24		2							
25		2							
26		2							
27		2							
28		2							
29		2							
30		2							
期末	期末試験	[2]							
学習時間合計			60	実時間			45		
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)								標準的所用時間(試行)	
①	語彙・表現文法・読解などの演習課題を解く。						各1時間×30回		
②	既習項目の復習をし、与えられたテーマに沿った応用練習を行う。						各0.5時間×30回		
③	語彙の問題を解く。						各0.5時間×30回		
備 考 欄									